

項目	内容
(1) 発行者の情報	
イ) 発行者の名称、所在地及び登録番号	<p>発行者の名称：株式会社フィナンシェ</p> <p>所在地：東京都渋谷区桜丘町26-1 セルリアンタワー15F</p> <p>会社法人等番号：0110-01-126276</p>
ロ) 発行者の沿革	<p>株式会社フィナンシェは田中 隆一氏、前田 英樹氏、西出 飛鳥氏によって2019年1月に共同創業され、同年3月よりスポーツチームやクリエイター等を応援するWeb3時代のトークンプラットフォームである「FiNANCiE（フィナンシェ）」の運営を開始しました。現在は株式会社gumiの創業者である國光宏尚氏が代表取締役CEOを務めています。</p>
ハ) 発行者及びその関係会社が営む主な事業の概要	<p>発行者：株式会社フィナンシェ</p> <p>事業の概要：「Empowering the next billion dreams」をビジョンとし、Web3時代のトークンプラットフォーム「FiNANCiE（フィナンシェ）」を運営しています。同サービスでは、プロジェクトオーナーがCTと呼ばれる独自のデジタルアイテムを発行し、支援者はCTを購入することでオーナーのコミュニティに参加することができます。CTは専用のマーケットで二次流通が可能なおうえ、保有量に応じてさまざまな特典を受けることができます。</p> <p>その他、NFT事業、IEO支援事業などトークンを活用したコミュニティおよびエコシステムの形成を支援する事業についても展開しています。</p>
ニ) 発行者の役員の氏名及び経歴	<p>● 代表取締役CEO 國光 宏尚</p> <p>2004年、カリフォルニアのサンタモニカカレッジを卒業後、株式会社アットムービーへ入社し、同年取締役に就任。</p> <p>映画やドラマのプロデュースを手掛ける一方で、様々なインターネット関係の新規事業を立ち上げる。2007年、株式会社gumiを創業し、代表取締役に就任。</p> <p>2015年、VR/AR関連のスタートアップを支援する100%子会社Tokyo VR Startups株式会社を設立し、代表取締役に就任。2016年、主に北米のVR/AR企業への投資を目的としたVR FUND, L.P. のジェネラルパートナーとして運営に参画、</p> <p>また韓国にてSeoul XR Startups Co., Ltd. を設立し取締役に就任。2017年、北欧地域のVR/AR関連スタートアップを支援するNordic VR Startups Oy. を設立し、代表取締役に就任。</p> <p>2018年、gumi Cryptos匿名組合を組成し、仮想通貨・ブロックチェーン事業に参入。2021年8月より株式会社フィナンシェ代表取締役CEO（現任）、並びに、株式会社Thirdverse代表取締役CEOに就任。</p>

● 取締役COO新井 拓郎

エイベックス・グループにて、デジタルプラットフォームの企画開発やIPの360度展開等の新規事業立ち上げを担当。2015年に株式会社Candeeを共同創業し取締役就任。その後メタバースエンターテインメントを牽引するKizuna AI株式会社の代表取締役に就任し2024年3月に退任。2025年に株式会社フィナンシェに入社。執行役員として事業管理およびマーケティングを統括。2026年3月に取締役COOに就任（現任）。

● 取締役CFO西山 修平

2007年、監査法人トーマツに入社し、その後ITベンチャー等を経て2020年にブロックチェーン関連事業を立ち上げる。数々のWeb3企業に関与したのち、2025年に株式会社フィナンシェに入社。執行役員CFOとして管理業務に従事。2026年3月に取締役就任（現任）。公認会計士。

● 取締役VPoE 戸田 敦

株式会社ネオジャパンでグループウェアの開発経験を経て、2011年に株式会社モブキャストに入社。ソーシャルプラットフォームの新規事業開発に携わる。その後、ネイティブアプリシフトにあわせて共通基盤開発やプラットフォーム運用開発チームの部長を務める。2018年株式会社gumiにて、新規事業のFiNANCiEの開発に初期メンバーとして参画。2019年に株式会社フィナンシェが設立された後、2020年に入社し執行役員VPoEとして開発に従事。2024年4月に取締役就任（現任）。

● 取締役CSO田中 隆一

慶應義塾大学理工学部情報工学科卒。2000年にデロイトトーマツ・コンサルティングに新卒入社。2002年DeNA入社。広告企画やソリューション事業など新規事業の立ち上げを経験する。2005年ノッキングオンに参画。モバイルアフィリエイト事業の立ちあげ、位置情報を利用したソーシャルゲームの企画・運営を経て、2008年から代表取締役を務めた。2010年株式会社Zynga Japanのビジネス・ディベロップメントチームに所属。2012年にUnicon Pte. Ltd. を創業。2019年株式会社フィナンシェを共同創業、代表取締役CEOを経て取締役CSO（現任）。

● 社外取締役 馬場 渉

2001年SAPジャパン株式会社に入社し、2014年同社チーフイノベーションオフィサーに就任。2016年、公益社団法人プロサッカーリーグ特任理事、SAP Labs LLC副社長に就任。2017年パナソニックホールディングス株式会社に入社し、2019年同社執行役員に就任。2020年、公益社団法人日本プロサッカーリーグ理事に就任。2022年4

	<p>損益計算書の概要</p> <table> <tr> <td>売上高</td><td>175,343</td></tr> <tr> <td>売上原価</td><td>328,892</td></tr> <tr> <td>営業利益</td><td>△ 363,848</td></tr> <tr> <td>経常利益</td><td>△ 549,564</td></tr> <tr> <td>当期純利益</td><td>△ 549,609</td></tr> </table>	売上高	175,343	売上原価	328,892	営業利益	△ 363,848	経常利益	△ 549,564	当期純利益	△ 549,609				
売上高	175,343														
売上原価	328,892														
営業利益	△ 363,848														
経常利益	△ 549,564														
当期純利益	△ 549,609														
ト) 発行者の社員数、組織及び機関	<p>正社員数：22名（2026年8月1日時点）</p> <p>組織及び機関：取締役会設置会社及び監査役設置会社。組織はFinancieJP事業部（Financie事業、FNCT事業、IEO支援事業管掌）、推し活プラス事業部、アライアンス室、プロダクトグループ、ビジネスマネジメントグループ、情報システムグループ、秘書室、内部監査室の8の部署で構成されています。</p>														
チ) 発行者の株式の状況	<p>2026年7月末時点の株式の状況は以下のとおりです。</p> <p>発行可能株式総数： 1,000万株 発行済株式総数： 220万9,845株</p> <p>各種の株式の数</p> <table> <tr> <td>普通株式</td><td>23万5,000株</td></tr> <tr> <td>A種株式</td><td>76万5,000株</td></tr> <tr> <td>B種優先株式</td><td>33万3,000株</td></tr> <tr> <td>C種優先株式</td><td>41万1,086株</td></tr> <tr> <td>D種優先株式</td><td>18万7,733株</td></tr> <tr> <td>E種優先株式</td><td>21万9,490株</td></tr> <tr> <td>F種優先株式</td><td>5万8,536株</td></tr> </table>	普通株式	23万5,000株	A種株式	76万5,000株	B種優先株式	33万3,000株	C種優先株式	41万1,086株	D種優先株式	18万7,733株	E種優先株式	21万9,490株	F種優先株式	5万8,536株
普通株式	23万5,000株														
A種株式	76万5,000株														
B種優先株式	33万3,000株														
C種優先株式	41万1,086株														
D種優先株式	18万7,733株														
E種優先株式	21万9,490株														
F種優先株式	5万8,536株														
リ) 発行者のコーポレート・ガバナンスの状況	<p>社外取締役、監査役及び監査法人が選任されています。2022年8月に取締役会設置会社に移行し、定期的にと取締役会が開催されている他、監査計画書に基づき監査役が取締役の職務執行、社内の内部統制の整備状況等を対象とした監査を実施しています。</p>														

(2) 新規暗号資産の発行及び販売等の状況（追加発行等の状況を含む）

新規暗号資産の名称	フィナンシェトークン(FNCT)
新規暗号資産の総発行量	20,000,000,000FNCT
新規暗号資産の販売総量	2,600,000,000FNCT
新規暗号資産の販売価格	0.41円/FNCT
新規暗号資産の販売総額	1,066,000,000円

(3) 発行者及びその関連当事者が保有する新規暗号資産の総量及びその内訳

2026年7月31日時点の当社及び関連会社の保有数量は12,173,686,591FNCTです。「FiNANCiE」サービス上での決済使用により増加した214,354,015FNCTを含んでおります。また、当社役員等による保有数量は1,770,000,000FNCTです。なお、現時点で当社及び関連会社による売却等は行っておりません。当社役員等保有分については売却制限が適用されています（ステーキング報酬等は除きます）。

(4) 新規暗号資産の市場価格の推移

FNCTの市場価格の推移は以下のとおりです。

2026年8月7日現在：



(5) 対象事業の進捗の状況

当社は、2023年2月21日から2023年3月7日を販売期間としてIEO（Initial Exchange Offering）における新規発行トークンの販売を行いました。

2026年8月4日時点で、以下のとおり主なコンテンツ及びサービスに関して発表しております。

- 株式会社フィナンシェ、株式会社電算システムとWeb3×地域創生で資本業務提携を締結(5/20)
- 福智町で醸した文化を味わう。カンヌ国際映画祭「CANNES GALA」公式提供酒と伝統的工芸品「上野焼」、NFCタグをセットでお届け。天郷醸造所がFiNANCiEで第2回サポーター募集を開始(6/16)
- みんなでそだてる、日本発のコーラブランドへ。清涼飲料水ブランド初のFiNANCiE導入事例に。UMAMI COLAが公式コミュニティを公開し、初期サポーター募集を開始。(8/4)

(6) 資金調達の一部又は全部を使用した場合には、使用した資金の額等及び使途の内容

IEOにより調達した資金の用途は以下のとおりです。「FNCT White Paper」記載の「調達資金の使途」をもとに算出した計画値総額に対して2026年7月31日までの支出額（税込）を記載しております。

資金用途	計画値 総額 (千円)	支出額 (千円)	使途の内容
開発	319,800	319,800	FNCTの発展に関連するあらゆる開発を促進するために使用されました。
マーケティング	319,800	319,800	FNCTエコシステムの拡大、および活性化に寄与するあらゆる活動に使用されました。
オペレーション	106,600	106,600	FNCTエコシステム、コミュニティ等、あらゆる運営に関わる活動に使用されました。
コントラクター	159,900	159,900	FNCTの安定した運用において必要となる、暗号資産交換業者や専門家等、外部業者への支払いに使用されました。
予備	159,900	159,900	予備費として使用されました。上記の資金使途、および、それに準じる諸経費、または、IEOの調達によって発生する法人税に充当されました。
合計	1,066,000	1,066,000	